

## 第 40 回日本生物学的精神医学会、アジア太平洋地域生物学的精神医学会国際会議で発表を行い、優秀発表賞を受賞しました (2018/9/6-9/9)

テーマ：メンタルヘルスケア、うつ病、基礎医学研究  
 会場：神戸国際会議場、神戸商工会議所

9月6日～9日に開催された第40回日本生物学的精神医学会、およびアジア太平洋地域生物学的精神医学会国際会議に、当研究所から災害医学研究部門災害精神医学分野の富田博秋教授、愈志前助教、富田博秋教授が研究指導する東北大学大学院生の高橋雄太氏が参加し、下記の発表を行いました。これらの学会は精神医学に関する基礎医学研究についての日本最大の学会です。  
 (演題名は以下の通り。下線は当研究所所属教員および大学院生、太字は発表者)

- ① Microarray analysis of gene expression in the prefrontal cortex in social defeat stress (一般口演) 演者：愈志前、小野 千晶、坂井 舞、富田 博秋
- ② Prediction of susceptibility to depression utilizing a machine learning model based on genome wide single nucleotide polymorphism data (一般口演) 演者：高橋 雄太、植木 優夫、田宮 元、荻島 創一、福本 健太郎、大塚 耕太郎、富田 博秋
- ③ Perspectives in machine learning for predicting psychiatric conditions (シンポジウム)  
 座長：Hiroaki Tomita, Junichiro Yoshimoto  
 Machine-learning prediction of psychiatric diseases based on genomic/metabolomic data 演者：Yuta Takahashi, Masao Ueki, Makoto Yamada, Gen Tamiya, Ikuko Motoike, Soichi Ogishima, Seizo Koshihara, Kengo Kinoshita, Masayuki Yamamoto, Hiroaki Tomita
- ③ Prediction of depressive state based on metabolome data of 897 subjects utilizing a non-linear machine learning model with feature selection (一般口演) 演者：Yuta Takahashi, Masao Ueki, Makoto Yamada, Gen Tamiya, Ikuko Motoike, Soichi Ogishima, Seizo Koshihara, Kengo Kinoshita, Masayuki Yamamoto, Hiroaki Tomita

災害時にはうつ病などのメンタルヘルスが大きな問題となる一方、客観的に病状を把握することが困難であることが、支援・介入を有効に行う上で制限をもたらしています。上記の発表は、うつ病のハイリスク者の同定、病状の客観的把握や有効な介入のための技術開発に向けて進めている研究の成果です。高橋雄太氏は上記②の発表で若手研究者の優秀発表賞を受賞しました。



シンポジウム参加者



高橋雄太大学院生

文責：富田博秋 (災害医学研究部門)